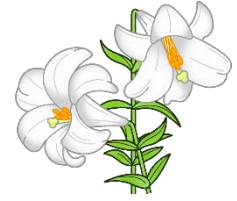




風薫る5月 学習習慣を確立させよう



令和5年度が始まり、約40日が経過しました。新しい生活は軌道に乗っていますか？

進路を考えたとき、その希望を叶えるためには、言うまでもなく、**学力**がその支えとなります。一時間一時間の授業が大切なのですが、それを効果的にするためには、教科の特性はありますが、家庭学習が必要となります。

1, 2年生については、まずは、**課題**が中心となります。しかし、目標達成のためには、それだけでなく**プラスαの学習姿勢**が必要です。3年生は、受験生として、**計画的な学習**が求められます。

学習は、量も質も共に求められます。将来、学習の内容は忘れることはあっても、**その中で培った姿勢は、必ず、自分を創る礎(いしずえ)**となると信じ、精進しましょう。



今後の進路予定

令和5年度の進路指導年間計画は、「進路の手引き」P. 61にあります。差し当たって、9月までの予定は、以下の通りです。模試や課外授業は、この予定で進んでいきます。是非、**計画的に学習を進めてください。**

	1 学 年	2 学 年	3 学 年
5月	進路希望調査①(12)	進路希望調査①(12)	進路希望調査①(12) 前期平常課外開始(5/15~7/14) 進路講演会(19) 土曜課外①(20) 6月進研マーク模試(26・27)
6月	1学年保護者会(10)	2学年保護者会(10)	土曜課外②③(17・24) 3学年保護者会(進路講演会)(25)
	前 期 中 間 考 査 (6~9)		7月進研記述模試(6/30・7/1)
7月	7月進研模試(1) 三者面談	7月進研模試(1) 三者面談	出願検討会(6/30・7/1) 土曜課外④(8) 三者面談
	夏 季 休 業 (7/15~8/20)		
	夏季課外 ○1・2年(7/18~26 7日間) ○3年(①前半(7/18~26 7日間) ②後半(7/27~8/3 6日間))		
8月	全統記述模試(19) 実力テスト(22)	全統記述模試(19) 実力テスト(22)	全統マーク模試(18・19) 土曜課外⑤(26)
9月	前 期 期 末 考 査 (5~8)		共通テスト出願指導(1)
	学力分析会①	学力分析会① 先輩講話(22) 進路講演会(28)	後期平常課外開始(9/11~12/15) 全統マーク模試(29)



大学入試のしくみを知ろう

2024年度の大学入試のスケジュールは、下表の通りです。入試のシステムを知ることは、受験戦略を考えるためには非常に大切なことです。まずは、**確かな学力をつけることを前提**としてください。

○国公立大学一般入試

1月13日(土)、14日(日)の2日間、大学入学共通テストを行い、その自己採点の結果を受けて、二次試験(前期・中期・後期)の出願を一斉にします。

入試方式は、分離分割方式といって、定員を分割して募集します。前期が合格して、入学手続き行くと、以後の受験資格はなくなるため、前期に第1志望を持ってくるとなります。

中、後期は、前期の不合格者の希望者が受験します。また、私立大学等が合格すると、後期の受験をやめてしまう場合もあり、後期の欠席率は高くなります。そのため、後期まで受験を続けることが大切です。

○総合型・学校推薦型入試

9～10月に総合型選抜（旧AO）、11月～1月に学校推薦型選抜が実施されます。

総合型入試は、自己推薦型の入試で、選考は、調査書、エントリーシート、志願理由書などの書類審査、面接が主です。また、大学のセミナーに参加しレポートや口頭試験を課すものや、小論文や教科の学力試験を実施したり、東北大学のように、共通テストを利用したりする大学もあります。

学校推薦型入試には「公募推薦」と「指定校推薦」の2つがあります。「公募推薦」は、どこの高校からも出願できますが、「指定校推薦」は、大学から指定された高校だけが出願できます。ただし、国公立大学には、ごく一部を除いて指定校推薦はありません。

選考方法は、国公立大学では、共通テストを課す場合と課さない場合があり、書類審査、小論文（総合問題）、基礎学力試験、面接が主です。面接の中で教科の口頭試験を課す場合もあり、英文読解を含む総合問題も一般的です。

特に、国公立大学の学校推薦型選抜、総合型選抜は難易度が高く、本校の過去の合格率も、約35～60%程度です。その準備は、9～11月の時期に行うこととなりますが、この時期は、一般選抜に向けた力をつける最も重要な時期にあたります。不合格だった場合、一般入試への影響が心配され、十分な注意が必要です。

○私立大学の一般入試

①大学独自の入試を実施する方法、②共通テストを利用する方法、③共通テストの点数と独自試験の合計を利用する方法の大きく3つの方法があります。大学独自の試験では3教科以下で行われることが一般的で、記述試験に加え、マークシート方式を採用する大学もあります。また、同じ学部・学科の試験を複数回に分けて行うこともあります。

2024年度入試 スケジュール

2023年		国公立大学	国公立大学・私立大学・短期大学
7月	選抜要項発表		
9月	大学入学共通テスト受験案内配付		総合型選抜
10月	大学入学共通テスト出願		
11月			学校推薦型選抜
12月			
1月	大学入学共通テスト（本試験）（13・14） 大学入学共通テスト（追試験）（20・21）		
2月	一般選抜前期（25～）		
3月	合格発表（1～10） 一般選抜中期（8～） 一般選抜後期（12～）		
	合格発表（20～24） 合格発表（20～24） 追加合格者発表 欠員補充第2次募集出願・試験（28～）		



「ChatGPT(チャット GPT)」って？

最近のニュースで、「ChatGPT」という言葉を聞きます。「ChatGPT」はアメリカの企業 OpenAI（2015年にイーロン・マスク氏らによって設立された非営利団体）が公開した自然な文章を生成する人工知能（AI）です。2022年11月に無料版が公開され、わずか5日間で100万人のユーザーを獲得しました。ChatGPTには、インターネット上の大量のテキストデータを参照・学習したGPT-3という人工知能（最近ではGPT-4）が搭載されており、質問を入力すると、チャット形式でその質問に対し、回答をしてくれます。また、質問回答だけではなく、文章の要約や添削、人生相談や他愛も無い会話にも対応してくれるなど、まるで人間が答えているような自然なチャットも楽しむことができます。

Chat GPTには、主に「3つ」のメリットがあります。

- ①膨大なデータから情報収集ができる
- ②時間を短縮できる
- ③悩み相談ができる

一方、主に「2つ」のデメリットがあります。

- ①正確性に欠ける場合がある
- ②専門性すぎる質問に対応できない

また、ChatGPTには、当然リスクもあります。

人間が作成したような自然な文章を生成することが可能であり、悪用される危険性があります。正確性の乏しい情報や文章をインターネット上に発信してしまった場合、人間が作った文章との判別が難しくなります。

今後、このような新しい知識・技術に対して、正確に判断する力が求められます。興味のあることから良いので、是非、関心を持ってください。

(参照 Web3 Times <https://businessman0709.com/cryptocurrency/ai/chatgpt-merit-demerit/>)